

千葉市教育センターが実施している教育相談事業

教育センターでは児童生徒の不登校等のお子さんの実態にあった居場所を提供しています！

不登校とひと口にいっても、一人一人の児童生徒の実態は様々です。学校に登校できない一人一人の児童生徒の気持ちや思いなどを、学校と保護者、教育センターの三者で相談・検討しながら、児童生徒の希望と実態にあった居場所の提供をしていきます。

教育センターでは、系統的な支援・援助サービスを通して、児童生徒一人一人の『集団生活への適応や社会的に自立すること』をサポートしていきます。

「集団生活への適応、社会的自立をめざした系統的、段階的な支援を行うためのサポートプログラム」

この子には、どんな居場所が一番良いのかな？

そんな時は、これ、これ！

家庭訪問相談

●こんな児童生徒に・・・

- ・家の中に閉じこもりがち。
- ・今は友達とも話したくない。
- ・親にも自分のことを話したくない。

来所相談・電話相談、医療相談

●こんな児童生徒に・・・

- ・原因や理由がわからず学校を休みがちである。
- ・いじめなどで自分の殻に閉じこもり、あまり話をしない。
- ・今すぐ相談したい。
- ・まずは、とりあえず話を聞いてほしい。
- ・精神科の医師に相談したい方。

教育支援センター「ライトポート」

LP花見川（朝日ヶ丘小学校内）、LP若葉（若松台小学校内）、LP中央（大森小学校内）
LP美浜（真砂西小学校内）・LP緑（土気小学校内）・LP稲毛（千草台東小学校内）市内6カ所に設置

※小学生担当の指導員をすべてのライトポートに週4日間配置し中学生と別の教室で活動

●こんな児童生徒に・・・

- ・集団生活に戻りたい。でも今の学校・学級には戻りづらい。
 - ・少人数で、集団にとけ込める準備を始めたい。
 - ・集団生活への復帰のために、少しずつ少人数で学習やスポーツに取り組みたい。
- ※週5日間（中学生）、週4日間（小学生）の参加を目標に通級。

教育センター内 小学校グループ活動

●こんな児童生徒に・・・

- ・集団生活に戻りたい。でも今の学校・学級には戻りづらい。
 - ・少人数で、集団にとけ込める準備を始めたい。
- ※週2日（火・木）の活動に参加できます。

教育センター内 中学校グループ活動

●こんな児童生徒に・・・

- ・集団生活に戻りたい。でも今の学校・学級には戻りづらい。
 - ・集団生活の中で、学習やスポーツに取り組みたい。
- ※週3日（火・水・金）の活動に参加、残りの2日は学校かLPへの参加ができます。

真砂中学校 教育相談指導教室

（まさご夢スクール4階）＜教育支援課所管事業＞

●こんな児童生徒に・・・

- ・学校生活に完全復帰をしたい。
- ・時間割による教科授業や行事にも参加したい。

学校支援・・・学校訪問相談、教職員研修

・学校訪問し、児童生徒についてケース会議等を行います。また、充実した教職員研修を実施します。

※「保護者の交流会」…教育センターにて毎月1回程度開催

これからの自分
新たな自分
みつかると
きつと
さがせるきつと

集団・社会生活への適応などをめざした系統的な支援・指導のめやす

*「集団・社会生活への適応などをめざした系統的な支援・指導のめやす」は、児童生徒の状況を知り、どの相談事業等につなげればよいかを知るためのめやすです。



お問い合わせ先：千葉市教育センター 保護者電話相談専用＝255-3702

